



鳥取大学医学部

Faculty of Medicine Tottori University





山陰の地で学ぶ 先進医療



医学部の理念

鳥取大学医学部は、医学科、生命科学科、保健学科がお互いに連携を取りながら、生命の尊厳を重んじるとともに、創造性に富む医療人や生命科学者を養成する。

医学部の教育目標

鳥取大学医学部は山陰地方の歴史と伝統ある医学部として、21世紀にふさわしい医学、生命科学、保健学を修得し、これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行う。そして、限りない人間愛を涵養しながら、地域社会の課題を解決し、地域の発展に貢献するとともに、国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指す。

医学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成する。

生命科学科では、生命倫理を尊重するとともに、基礎医学と最先端の生命科学を修得し、医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を養成する。

保健学科では、看護学専攻は看護学の理論と技術を修得し、人間の尊厳を守り、地域特性に合わせた看護を実践できる看護職を、検査技術科学専攻は生命倫理を尊重し、最先端のバイオサイエンスと生体・機能検査の技術をそなえた臨床検査技師を養成する。

鳥

取大学医学部では『生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成する』ことを理念として掲げ、それを実現するため『限りない人間愛や高い倫理観の涵養』、『最先端の医学、生命科学、看護学、検査技術科学の創造』、『地域社会発展への貢献』、『国際的な活躍』などを目標として教育を行っています。

特に、医療人のみならず最近の学生に必要な不可欠なコミュニケーション能力の養成、倫理観の涵養、少人数による問題解決型教育などに力を入れて、良き医療人、良き専門的職業人の前に、良き教養人になれるように努めています。

さらに、能動的学習（アクティブラーニング）を積極的に導入するため、常にカリキュラムの改善に努めています。

また、実技（技術）の備わっていない医療人は、実際の臨床では困惑することが多々あることより、卒前卒後いつでも（学外者も）利用できるシミュレーションセンターを充実させるとともに、附属病院の卒後臨床研修センター、医療スタッフ研修センター、地域医療支援センターと連携して卒前卒後のシームレスな教育を実現しています。

鳥取県は高齢化が顕著に進んでおり、20～30年後の日本の現状を先取りしていると言っても過言ではありません。中山間地の自治体病院に設置したサテライトセンターでの医学生、看護学生との協働実習や、在宅マインドを醸成するため住民の自宅に泊まりこんで地域の課題を把握するなど、将来の日本の地域医療に関しての先進的な取り組みを模索しています。

グローバルな視点を育成することも重要課題であります。本医学部では諸外国の医学部、医科大学（米国1校、ロシア3校、フィリピン1校、モンゴル1校、インドネシア2校、韓国2校、中国2校）と交流協定を締結し、活発な国際交流を行っています。毎年学生や教職員が研修・研究・教育に行き、大きな視野を持った医療人や研究者の育成に役立っています。さらに、医学教育の国際化にも対応できるように、平成30年には医学教育分野別認証を受審予定です。

大学の使命の1つとして研究があげられますが、最近の学生は、すぐに結果のでない基礎研究を敬遠する傾向が見受けられます。そのため、各学科いずれも学部学生時代に研究室に入って研究マインドの醸成を行うとともに、大学院教育の充実にも努めています。一般コースの他に、腫瘍専門医コース、障害児医療学コース、革新的未来医療創造コース、がん看護専門看護師コースなどを設置し、より幅の広い視野を備えた人材を育成しています。

本医学部には医学科、生命科学科、保健学科があり、それぞれに特徴的な教育、先進的な研究を行っていますが、それらの教育力や研究力を融合してさらに発展させるため、学科の枠を超えた教育、研究体制を構築することは吃緊の課題と言えるでしょう。そのような課題を成し遂げるには3学科の連携が最も重要であり、将来の医学部の発展を見据えた改革の推進が必要と考えています。

鳥取大学医学部ではこれまでも、そしてこれからも地域に根ざし、常に最先端の教育・研究に邁進し、国際的視野に立った教養溢れる医療人や専門的職業人の育成に努めます。そして、将来のビジョンを構築して医学、生命科学、保健学の発展・向上に貢献すべく努力いたします。未来に向かってわれわれと一緒に羽ばたく意欲のある学生諸君の入学を心待ちにしています。



鳥取大学医学部長
廣岡 保明

▶ Contents

医学部の理念	2
医学部の教育目標	2
医学部長メッセージ	3
医学科	
医学科長あいさつ	4
基本方針	4
学科の教育・研究	6
学科の特色	8

生命科学科

生命科学科長あいさつ	10
基本方針	10
学科の特色	11
学科の教育・研究	12
在校生の声・卒業生からのメッセージ	14
卒業生・修了者の進路	15

保健学科

保健学科長あいさつ	16
カリキュラム	16
学科の教育・研究	18

看護学専攻	20
検査技術科学専攻	22
キャンパスカレンダー	24
学生生活	25
附属病院	26
入試情報	27
アクセス	28

医学科



医学科長 景山 誠二

医学科は、世界レベルの標準医療の担い手を育てる医師養成機関であり、また、医療上の課題克服に努力する研究医を育てる機関でもあります。さらには、地域・国家・国際公務員、医学教育者など、様々な医療現場を舞台にして、現在・未来の医療を支える人材を育成しています。

鳥取大学医学部医学科への入学を契機に、鳥取県域に軸足を置き、この地域から世界の各地まで、医療上の様々な課題解決に取り組む、意欲溢れた全ての皆様の参加をお待ちします。

多くの有能な若い力が輩出し、魅力あふれる多くのプロジェクトが花咲くことを祈念しています。

基本方針

▶ Diploma Policy

【卒業認定・学位授与の方針】

鳥取大学医学部医学科では、以下の能力や特性を身につけたときに学士（医学）の学位を授与します。

1. 医師に求められる基本的な知識、技能、態度を修得し、それを生涯にわたって維持向上させる姿勢
2. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会に対する自身の役割を認識し、患者中心の立場に立った医療を実践する能力
3. 論理的思考力、高度な判断力、コミュニケーション能力を身につけ、他者と協力・共同して医療・研究を行う能力
4. 常に知的探究心と創造性を持ち、最新の医学的知識を身につけ、国際的な視点で物事を考える能力
5. 地域や地域で暮らす人を愛する心を持ち、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献する能力



◆取得可能資格／医師

▶ Curriculum Policy

【教育課程編成・実施の方針】

鳥取大学医学部医学科では、卒業認定・学位授与の方針を実現できるように、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した教育プログラムを導入し、到達目標を明確にし、卒業時までには医師あるいは研究医になるために必要な知識、技能、態度を身につけられるようなカリキュラムを組むことを基本的な方針としています。
2. 人間力を高めて、幅広い能力を持った職業人を養成するため、教養教育を受講する機会を広く提供し、人間力の構成要素がバランスよく身につくカリキュラムを展開します。
3. 学問に対する興味を深め、学問・研究が社会に貢献している実状を理解させる教育を実践します。
4. 創造力豊かな医療人を育成するためイノベーション教育を実施します。
5. 生命倫理、利益相反、危機管理、環境問題等の社会的に関心の高い学問領域を重視した教育を実施します。
6. 人体および人体標本に対する礼意や倫理に関する教育、守秘義務に関する教育を実施します。
7. 情報社会において安全かつ有効にネットワークを活用できるようにするため情報リテラシー教育を実施します。
8. コミュニケーションの大切さを実感させる教育を実施します。手話をコミュニケーション方法として取り入れるために手話教育に力を入れます。
9. 研究体験、先端医学講義、及び英語論文抄読などにより、リサーチマインドを涵養します。
10. 診療英会話などの実践的英語能力の向上を目指します。海外の学術交流協定校との間で臨床実習体験などの交流を行います。
11. 全人的医療人育成のため、低学年から早期医療体験を通じて、医療従事者としての動機付けを行い、臨床講義終了後に地域医療体験で地域に密着した医療を学ぶとともに地域の保健、福祉、介護の実践と多職種連携の重要性を理解する教育を実施します。
12. グローバルスタンダードを視野に入れた診療参加型臨床実習を実施します。

▶ Admission Policy

【入学者の受入れ方針】

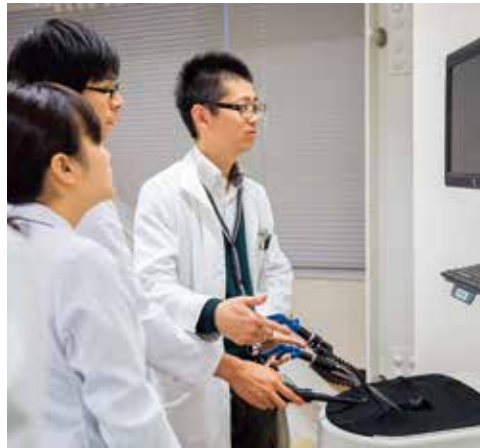
鳥取大学医学部医学科では、理念・教育目標を達成するため、次のような人を求めます。

1. 生命の営みに関心のある人
2. 科学的な思考能力のある人
3. 医学に対する学習意欲と適性のある人
4. 人と協調できる柔軟性のある人
5. 山陰地方の風土と生活に関心のある人
6. 医学・医療と保健・福祉の進歩に貢献できる人



学科の教育・研究

6年間で学ぶ『医学』を構成する講座及び分野



解剖学講座

ヒトの身体について、形態、即ち電子顕微鏡や光学顕微鏡で調べる微細な構造から、肉眼的な形までいろいろな角度で研究・教育する分野です。

生理学講座

- ・統合生理学分野
- ・適応生理学分野

ヒトの生きていく仕組みを分子レベルから全身のレベルで解き明かしていく学問分野です。

病理学講座

- ・器官病理学分野
- ・分子病理学分野
- ・脳病態医科学分野

ガンと正常組織の鑑別や、移植臓器の拒絶反応を診断する仕事、ガン細胞を遺伝子レベルで検討するなど、病気の成り立ちについて教育や研究をする学問分野や、脳や神経疾患の病態を解明する分野があります。

感染制御学講座

- ・細菌学分野
- ・ウイルス学分野
- ・医動物学分野

HIV、肝炎ウイルスなど電子顕微鏡でなければ見えないものから、O-157などの大腸菌、胃のピロリ菌など感染症を起こす病原体に関する分野、寄生虫や病気を媒介する動物について教育や研究をする学問分野です。

社会医学講座

- ・環境予防医学分野
- ・健康政策医学分野
- ・法医学分野
- ・医学教育学分野
- ・病態運動学分野

人間の健康を健康領域から境界領域・疾病領域、さらに死に至る連続した状態として把握するとともに、宿主・病因・環境のダイナミズムの中で総合的に据え、特に予防医学を重視し実践するとともに教育・研究する分野や、健康増進や予防における運動の果たす役割を重視する分野、法的な面で社会との接点を有する医学分野などがあります。また、限られた時間で最大の教育効果をもたらす教育方法の研究や、システム整備に貢献する分野を擁します。

病態解析医学講座

- ・統合分子医化学分野
- ・分子薬理学分野
- ・薬物治療学分野
- ・画像診断治療学分野
- ・臨床検査医学分野

生命に必要な物質の代謝・機能等を分子レベルで研究したり、その違いを基に診断の基礎となる検査データを診療に応用し、研究・教育を行う分野や、MRI等の画像診断装置を用いた研究や放射線治療の研究開発を行ったり、治療の基礎となる薬物の作用メカニズムを解き明かし、新薬を開発したり、有効で安全な使い方を教育・研究する分野があります。

統合内科医学講座

- ・病態情報内科学分野
- ・機能病態内科学分野
- ・分子制御内科学分野
- ・周産期・小児医学分野

心臓病や、消化器の病気、ガンや呼吸器の病気など範囲の広い内科学に関し、各専門分野ごとに教育・研究・診療を行っています。生まれたばかりの赤ちゃんから発達に応じた小児の病気を取り扱う分野もあります。

器官制御外科学講座

- ・病態制御外科学分野
- ・器官再生外科学分野
- ・胸部外科学分野
- ・腎泌尿器学分野
- ・生殖機能医学分野
- ・麻酔・集中治療医学分野
- ・救急・災害医学分野

主に手術により病巣を取り除いたり、血管や、臓器をつないで再建し、病気を治します。内科学同様臓器・疾患別にいろいろな分野に分かれ、また新しい生命を育む産科や、手術時に麻酔や重傷者の集中治療を専門とする分野がある他、国内でも少ない救急・災害医学の専門分野もあり、2011（平成23）年の東日本大震災には即座にDMATを派遣し、救援診療に活躍しました。

感覚運動医学講座

- ・運動器医学分野
- ・皮膚病態学分野
- ・視覚病態学分野
- ・耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
- ・口腔顎顔面病態外科学分野

骨や関節など運動器が専門の分野や、湿疹や皮膚ガン、やけど等皮膚を専門とする分野、角膜移植や硝子体手術など眼を専門とする分野、難聴やめまい、中耳炎など耳や鼻、のどの疾患を専門とする分野、歯や舌、唇などの口腔顎顔面領域の手術や、味覚異常、顎関節、粘膜疾患などを専門とする分野などがあり、それぞれ先進的で特徴的な診療・研究や教育を行っています。

脳神経医科学講座

- ・脳神経内科学分野
- ・脳神経外科学分野
- ・脳神経小児科学分野
- ・精神行動医学分野

脳や神経に関する疾患の治療と病気の起こる機序を研究する分野などがあり、精神疾患や心療内科を専門とする分野もこの講座に含まれます。特に小児を専門とする分野は他大学に先駆けて設置され、遺伝子カウンセリングなども含めた先進的取り組みが行われています。

地域医療学講座

近年重視されている地域医療に関し、全国でも少ない独自の教育・研究・診療システム構築を目指して活動しています。（鳥取県の寄附講座を含む講座）

学科の特色

特徴

本学では、モデル・コア・カリキュラムをいち早く導入し、10年以上にわたってより良い履修形態に修正してきました。これは、全国統一の精選された基本的内容を重点的に履修するもので、全体の3分の2程度の時間数が費やされます。残りの3分の1は、本学の教育理念に基づく教育で、手話教育など、学生が自主的に選択できる多彩なメニューが用意されています。4年次の終わりにはCBTとOSCEという全国共用試験を受験し、一定レベルに達していると判断されると、5年次から臨床実習が始まります。大学病院で行う臨床実習は、学生も医療スタッフの一員として加わる参加型実習制度を取り入れていますが、今後は段階的に臨床実習を更に充実させるように計画しています。

昨今、医学教育に対する社会のニーズは多様化し、創造性豊かな人材の輩出が求められています。本学では従来の知識詰め込み型の教育方法から、自ら課題を探究し、能動的に取り組む学生主体の学習への転換を図っており、小グループに分かれて課題解決を行うチュートリアル教育や、一定期間希望の研究室で自主的な研究に取り組む機会なども設けられています。このような多様なカリキュラムに対応するため、医学部では総合医学教育センターをもうけ、教員や学生の教育上の便宜を図っています。医学科の卒業生は医師免許取得後、医療、教育・研究、行政面などで、山陰はもとより全国で活躍しています。

海外研修

鳥取大学では、夏季休業を利用してカナダの大学等で短期研修を行う制度があり、将来視野の広い医師を育成するため、医学部同窓会も積極的に支援しています。

また、アメリカの大学医学部での臨床研修等、海外交流協定締結校との関係や、教員の海外共同研究の機会を利用した研修などがこれまで行われてきました。最近では、さらに数名の6年次学生をニューヨーク市のコロンビア大学における短期臨床研修に派遣するなど、国際化を進めています。

2008（平成20）年にはアメリカのバーモント大学医学部と学術交流協定を締結しました。その結果、医学科4、5年次学生が毎年バーモント大学で開催される夏期および春期臨床研修プログラムに参加しているほか、バーモント大学からも数名の学生や教員が鳥取大学での研修に参加し交流を行っています。また、韓国の延世大学の学生の研修については、受け入れが継続していることから、2011（平成23）年には大学間の交流協定に発展しています。さらに、2013年からフィリピン共和国の保健省関連病院（国立サンラサロ病院）で、2016年からロシアの極東連邦大学で、6年次学生の臨床研修を開始しています。



▶ Curriculum

1年

医学概論
実験動物学
医用統計学
細胞組織学
細胞一般生理学
細胞生化学
免疫生物学
遺伝生化学
発生工学
基礎運動器学

2年

医学史
基礎薬理学
基礎栄養学
基礎消化器学
基礎循環器学
基礎呼吸器学
基礎泌尿器・生殖器学
基礎感覚器学
基礎神経学
基礎内分泌・代謝・血液学
解剖学実習
基礎医学実習
病理学総論
社会環境医学
基礎医学セミナー
基礎医学特論

3年

基礎感染症学
基礎感染症学実習
人類遺伝学
疫学と予防医学
研究室配属
メディカルコミュニケーション
画像診断学入門
病理学各論
診断学
放射線診断学
治療学
臨床消化器学
臨床循環器学
臨床呼吸器学
臨床内分泌・代謝学
臨床血液学

※上記の専門科目のほか、1～3年次で全学共通科目を学びます。

在校生の声

医学科3年生

植田 祐子さん（鳥取県出身）

高校生の時、大学生の先輩から「大学は高校の1000倍楽しい」と言われました。この言葉、本当です。大学生は、自由です。だから、遊びでも勉強でも何でも、自分のやりたいことにどんどん挑戦できるんです。

勉強は自分の将来の夢である医師に直結したものばかりで、学年が上がるにつれて夢に一步步近づいていると実感できます。体験型セミナーや研修も多くあり、楽しいだけでなく、自分の将来像をより明確にする良い機会となります。私は新しいことに挑戦するのが好きなので、1年生のころから積極的に参加しています。

みなさんも鳥取大学に入学して、1000倍どころか1万倍楽しい大学生活を送ってください。



私の週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
1時限	応用英語 I	病理学組織 実習	基礎感染症学	病理学組織 実習	基礎感染症学	アルバイト
2時限	環境科学					
3時限	診断学	基礎感染症学実習	診断学	基礎感染症学実習	放射線診断学	
4時限	病理学各論		病理学各論			
5時限						
放課後	アルバイト	部活動	アルバイト	部活動	部活動	

4年

生活生命医学
臨床運動器学
臨床神経学
臨床感覚器学
臨床泌尿器学
臨床生殖器学
産科学
臨床成長・発達学
臨床感染症学
臨床腫瘍学
社会医学チュートリアル・実習
免疫・アレルギー
神経精神医学
老年医学
麻酔科学
救急医学
医療情報学 1
PBLチュートリアル
臨床実習入門
地域医療体験
臨床医学特論 I

5年

臨床実習 I

6年

保健予防医学
医療情報学 2
臨床実習 II
臨床医学特論 II

医師国家資格試験



生命科学科



生命科学科長 初沢 清隆

本学科は「生命科学」という名を冠する本邦初の学科として、1990年、医学部に創設されました。以来、生命科学や医学分野において世界的に傑出した研究成果を発信しています。

本学科の目的は、生命現象の基本的な真理の探究や疾患の原因を解明する研究者、またはそこから導かれる最先端の医療法を開発する研究者の育成にあります。

「生命科学の重大な謎を解きたい!」「難病の治療に貢献したい!」このような強い意欲を持つ若者が本学科に集い、サイエンスを楽しみお互いを高め合うことを願っています。

私たちはそのために一人ひとりを全力でサポートします。

基本方針

▶ Diploma Policy

【卒業認定・学位授与の方針】

鳥取大学医学部生命科学科は、学生が本学科における学修と経験を通じて、以下の生命科学や基礎医学の研究者および生命科学関連の専門的職業人に求められる基本的能力や特性を身につけたときに学士（生命科学）の学位を授与します。

1. 自然科学をはじめ一般的な教養に関する幅広い知識と、生命科学および基礎医学に関する深い知識の習得と理解、これら知識の獲得のための方法と技能
2. 生命科学研究の遂行に必要な基本技術とその原理の理解、解決すべき問題を自ら設定できる問題探索力、問題を適切な方法により解決に導く問題解決力
3. 国際的な広い視野を備えた柔軟かつ論理的な思考力、独創的な発想力
4. 生命科学における真理の探究や新しい技術の開発の重要性に対する深い理解、従来の常識や先入観に左右されない態度、他者と共同して研究を進めることができる協調性
5. 生命科学を学んだものとしての高い倫理観と責任感

▶ Curriculum Policy

【教育課程編成・実施の方針】

鳥取大学医学部生命科学科は、卒業認定・学位授与の方針で示す能力や特性を学生が主体的に身につけることができるよう、次に掲げる方針のもとに体系的な教育課程を編成し実施します。

1. 全学共通科目では、自然科学をはじめ一般的な教養を学ぶとともに、医学・生命科学を支える基礎的な知識および技術の習得をはかります。
2. 専門科目では幅広い医学知識、専門性の高い生命科学知識、生命科学研究に必要な基礎技術の習得および生命倫理の理解を図ります。また、論理的思考力、独創的な発想力、的確な表現力およびコミュニケーション能力を育成します。同時に、真理の探究や新しい技術の重要性に対する理解を促します。
3. 最終年次における「生命科学特別研究」により、上記の力を向上させるとともに問題探索力、問題解決力の育成を図ります。
4. 上記を通じ、生命科学や基礎医学を探究する研究者の育成、および生命科学の知識と技術を活かし、生命科学と臨床医学や産業界との橋渡しができる専門的職業人の育成をめざします。

▶ Admission Policy

【入学者の受入れ方針】

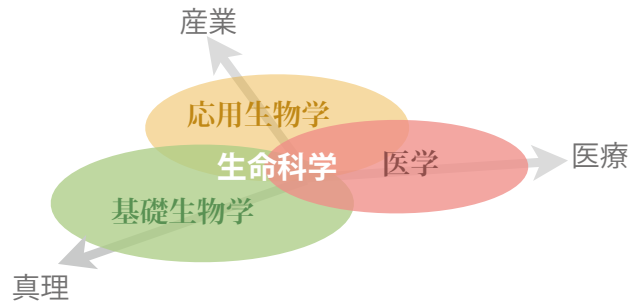
鳥取大学医学部生命科学科では、理念・教育目標を達成するため、次のような人を求めます。

1. 現代の医学・生命科学及びその関連分野の動向・進展に関心があり、それらの知識・技術を学び、向上・発展させる研究活動に興味をもてる人
2. 真理探究の意欲に燃え、創造的目標の達成にチャレンジし、勉学・自己研鑽に労力をおしまない人
3. 協調性を備え、生命科学を通して国際的な広い視野と、仕事への使命感を持って人類に役立つ喜びを感じる人



学科の特色

「生命科学」とは、生き物が生きている過程で起こる様々な事柄を、分子の動き、遺伝子の働き、細胞のふるまいなどから調べて、「いのち」の現象、その不思議さを科学的な視点で解き明かす学問です。その成果を医学、農学、工学、環境分野などに応用し、社会に貢献する学問でもあります。



医学部にある生命科学科

本学科は、医学とその関連領域をつなぐ生命科学研究者の育成をめざして、平成2年に全国にさきがけて設置されました。医師を養成する学科ではなく、生命現象の解明と、新しい時代の医療への貢献を両軸とする、4年制の学科です。

医学部にある学科の特色として、細胞や遺伝子などの生物学の知識に加えて医学関連の知識を学び、生命科学への理解をより深いものにしていきます。また遺伝子操作技術や細胞解析などのバイオサイエンス技術を習得できます。さらに難病の疾患モデル動物の作成やiPS細胞を用いた再生医療など、最先端の生命科学研究への道が開かれています。

生命科学科を構成する2講座7分野

分子細胞生物学講座 生体情報機能学講座

分子生物学

生体情報学

細胞工学

病態生化学

免疫学

神経生物学

ゲノム医工学

生命科学科と連携する充実した研究組織

生命機能研究支援センター

世界最先端の技術と機器を用いて、学部生、大学院生の研究を強力に支援いたします。

支援内容は、遺伝子の構造、機能、発現の解析、実験動物の飼育、遺伝子改変動物の作製、放射性物質を用いた実験など多岐にわたります。

染色体工学研究センター

鳥取大発で世界トップレベルの染色体工学（人工の染色体を用いて生命の機能を探ったり、再生医療や難病の治療などをめざす技術）を駆使して、医学、農学、工学の技術と組み合わせ、様々な融合研究を行っています。さらにその成果を産業界へと橋渡ししています。

本学科の学生は、このセンターでの研究が可能です。

とっとりバイオフィロンティア

世界最先端の染色体工学技術の活用をめざして鳥取県、鳥取大、企業の3者が連携して運用する研究施設で、医薬品開発などのバイオ産業の新技術の開発や実用化につなげます。

本学科学生は、このような企業との接点をもった研究に参加でき、インターンシップ（企業での就業体験）も可能です。

Q&A

医学科や既存の理工学部の生物系学科とどこが違うのですか？ また、他大学の生命科学科との違いはどんなところですか？

最大の特徴は、医学部の中にある生命科学科だということです。基礎的な医学の講義を受けたり、医学科、保健学科との合同講義の機会もあるなど、理・工学部などの生命科学科に比べると、医療に役立てることをより意識した生命科学の教育・研究を指向しています。医学科、保健学科の講座と連携した卒業研究・大学院研究を行うことも可能です。生命科学科に隣接する生命機能研究支援センター（遺伝子、動物、放射線利用実験）、染色体工学研究センター、とっとりバイオフィロンティアなどの研究環境も充実しています。これは本学科が設立からすでに20年あまりの実績を誇り、各センターとのしっかりとした連携があるからこそ出来ることです。

さまざまな業界で活躍する900名にのぼる卒業生のネットワークを持っていることも強みです。先輩達がさまざまな形で皆さんをサポートしてくれます。一学年が少人数のため、同級生、先輩後輩や教員との距離がとて近いです。

生命科学科のwebページにはこの他にもたくさんのQ&Aが掲載されていますので参考にしてください！

鳥取大生命

検索

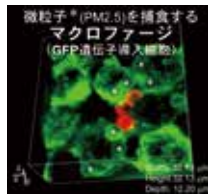
分子生物学分野 教授
初沢 清隆

細胞の世界を覗けば、
生命の原理が見えてくる

私たちは、時としてさまざまな疾病に罹り悩まされますが、その多くが未だ原因究明に至っていないのが現状です。私たちは細胞から個体レベルでの基礎的な生体機能（生体防御、遺伝子の調節制御、発生の制御など）を解明することが、一見遠回りのようですが個々の病因を明らかにする上でとても重要なことと考え研究を進めています。

具体的には、①マクロファージのように病原微生物と闘う食細胞に備わっている特殊な機能はどのように発揮されるのか？ ②DNAのメチル化などゲノム構造がどのように調節され遺伝子の働きに関わっているのか？ ③卵子や初期胚の発生過程で染色体がどのような構造変化と調節を受け、正常な発生を達成できるか？ これらの解明を大きなテーマに掲げ、染色体工学技術などを利用し、遺伝子導入細胞やトランスジェニックマウスを作製しています。

謙虚な気持ちで細胞の世界を覗き、そこから語りかけてくるうつくしい生命の原理の一つひとつを丁寧に拾い上げることで得られる成果が、疾病の原因解明や治療へと還元されるよう日々取り組んでいます。



細胞工学分野 教授
久郷 裕之

つなげたい、
病気の解明から
治療に向けて！

細胞工学分野では、遺伝子・染色体導入や細胞融合（世界最先端の細胞操作技術および染色体工学技術）によって自然界にない細胞を作り出し、病気の解明から治療への応用を目指しています。

- ①新しいがん抑制遺伝子の働きを解き明かし、発がんメカニズムの理解と診断・治療への応用
- ②細胞の老化が何故起こるのか？不死化能を獲得する発がん機構の解明からその謎に迫る
- ③私たちの研究室で開発された染色体ベクターを利用して、iPS細胞（人工多能性幹細胞）から遺伝子再生治療
- ④人と同じような薬の反応を示すマウスやラットを作製し、薬物の代謝・安全性・毒性の評価システム開発

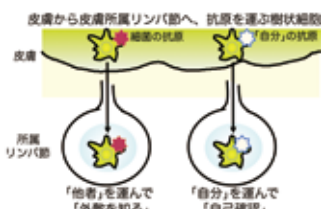


このように私たちの研究室では、基礎生物・再生医療・創薬・食品研究部門などの様々な幅広い分野にまたがり研究に取り組んでいます。あなたも一緒に挑戦してみませんか？

免疫学分野 教授
林 眞一

「自分」を見つめる
免疫細胞の不思議

免疫は、細菌やウイルスなど、病気を引き起こす病原体の感染に対抗するための体の仕組みです。好中球やリンパ球などの免疫を担当する血液細胞は、病原体を攻撃し処理します。このとき、病原体だけが攻撃され、自分の体は攻撃されません。免疫機構は、私達の細胞が持つ「これが自分！」という目印となる物質で「自分」を、逆に病原体だけが持つ物質を目印に「他者」を認識し見分けるシステムを利用しています。しかしこの「自分」と「他者」の見分けは絶対的ではなく、時に簡単に崩れることがあります。これが自己免疫疾患のような、自分で自分を攻撃する病気につながると考えられています。私達の研究室では、ある細胞が自分の体の成分をリンパ節という臓器に運び続けて、常に自分を確かめているのではないかと気付きました。免疫という「自分」とは、絶え間ない努力でやっと維持できるものなのかも知れません。そういう自然の不思議に心惹かれて、研究しています。



ゲノム医学分野 准教授
井上 敏昭

知りたい、
作りたい、
活かしたい、
染色体

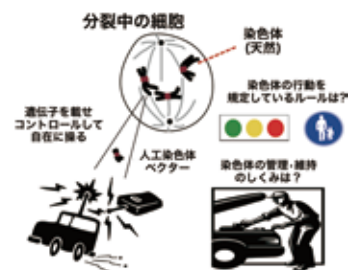
【1：染色体は遺伝子の乗り物＝ベクター】

この乗り物を小型化した新しい乗り物を作りました。それが人工染色体ベクターです（細胞工学分野との共同研究）。小型でも多数の遺伝子を載せて、安全に細胞や個体に運べます。さらに改良を加え、ねらった細胞にしっかり届ける方法を開発します。

【2：乗り物の交通ルールは？】

ヒト細胞に46本ある染色体（天然）は、親から子への生命の継承を担います。しかし暴走したり壊れたりすると癌など染色体疾患に陥ります。

この乗り物の交通ルールや修理場に相当することは何なのか？その特徴的な構造体（動原体、テロメアなど）に注目して、ルールを分子の言葉で記述します。ルールを知ることは生命継承の真理を知るだけでなく、事故防止、つまり疾患を減らすことにつながります。

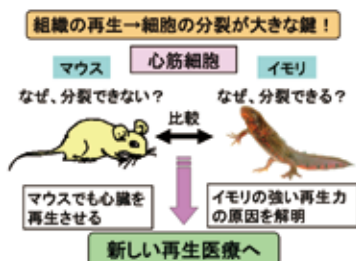


生体情報学分野 教授

竹内 隆

再生できる、
できないは
何が決める？

私たちヒトは、多くの組織を再生できません。ところが、両生類のイモリは足や尾、さらには心臓までも再生します。一体、何が違うのでしょうか？その大きな鍵の一つは、細胞が分裂できるか、どうかにあります。たとえば、ヒトの心筋細胞は生後に分裂しなくなり、たとえ傷害を受けても、もう、増えることはありません。ところが、イモリの心筋細胞は、傷害を受けると再び分裂します。その結果、心臓は再生されます。分裂ができる、できないの違いは何によるのでしょうか？私たちは、マウスとイモリの両方を研究することで、この謎解きに挑戦しています。この謎が解ければ、私たちヒトでも多くの組織を大規模に（たとえば腕を丸ごと？）再生できる日が来るかもしれません。そんな壮大な夢を抱きながら、私たちは日夜、研究に取り組んでいます。

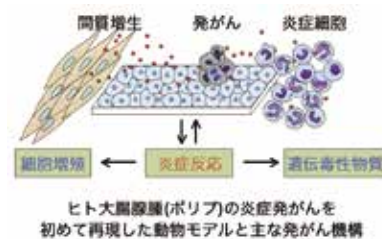


病態生化学分野 教授

岡田 太

がんを知る、
がんを防ぐ

がんは、日本人の一生のうちで2人に1人が患い、その半数が治療で治ります。しかし、3人に1人はがんで命を落としています。その原因は様々ですが、明らかなのは意外と少ないのです。中でも、肝炎ウイルス感染やヘリコバクター・ピロリ菌感染は、肝がんや胃がんの原因と考えられます。これらは、感染の種類（ウイルスや細菌など）は異なりますが、感染した後に生じる炎症が、がん発生に共通する原因となります。炎症が引き起こすがんによって死亡する割合は、全世界のがん死因の約20%を占めるともいわれています。原因と結果がこれほど明らかな発がん要因は少なく、換言すると炎症はがん予防を達成する際の最初の標的となるのです。私たちの研究室では、図に示すような“炎症発がん”の動物モデルを作り、発がん機構と予防へ向けた研究も続けています。あなたも教科書に載るがん研究と一緒に始めてみませんか。

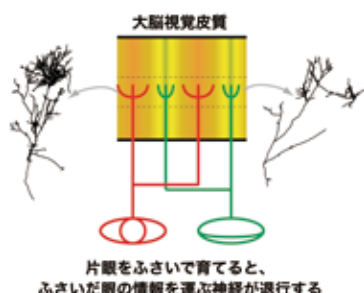


神経生物学分野 教授

冨 義郎

使って育つ
脳のしくみ

古来、数多くの哲学者、心理学者、脳科学者が「私とは何か？」「世界はどう認識されるのか？」など心の謎に取り組んできましたが、まだまだわからないことは山ほどあります。もののしくみがわからないとき有効な手段の一つが、その成り立ちを調べることです。子供の脳はどうやって育つのか？実は、脳は時間がたてば育つというものではありません。使ってはじめて育つのです。ものを見る脳のしくみが発達する時には、きちんと「見る」経験が必要です。幼児期に眼をふさぐと、その眼の情報運ぶ神経は発達できません。他の感覚も同じです。経験が、どのようにして、脳の発達を制御するのか？そのしくみがわかれば、心の育ち方や、それにまつわる様々な問題の解決法もわかるに違いありません。そう思って日々研究を続けています。



最近の卒業論文テーマ

- ファゴサイトーシスにおけるVAMP5の機能解明
- 悪性度の異なる腫瘍細胞間の相互作用の解析
- GFPトランスジェニックイモリを用いた四肢再生機構の研究
- 肝転移責任分子としてのAmigo2の同定
- 初期B細胞におけるステロイド抵抗性獲得機構の探究
- Lipopolysaccharide刺激におけるマクロファージのウイルス抵抗性の獲得
- 人工染色体を用いた神経分化モニターシステムの開発
- 染色体工学技術を用いた神経分化モニターシステムの開発
- 暗所飼育による弱視回復の試み
- OCT4遺伝子エンハンサーに存在するSox-Oct motifの低メチル化状態維持機能の解析

在校生の声

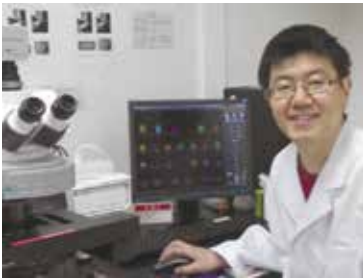
「明日30人の人命を救いたいと思うなら医師や看護師になる他ないかもしれない。でも10年後、何万人という人の生命を救いたいと思うのなら、生命科学科でその夢を実現してほしい」確かに先生はこう仰っていたと思います。頭の中が白く溶け落ちるような衝撃に襲われました。生命現象に対する知的探求心を後押しする情熱は、この言葉を聞いてから今も熱く燃えています。大学の文学部に籍を置いていた私は、一般教養と呼ばれる文理の垣根を越えて知識を修得できる講義を受けていました。そこで文系の私は、再生する生物の再生能力を再生治療に応用できないか、という趣旨の生命科学系の講義に出会うことになります。専門的なことはよくわからないが、もっと詳しく知りたい。私が生命科学科を受けることになった運命的瞬間です。



生命科学科3年生
山崎 匡太郎さん（静岡県出身）

生命科学科へ入学後、1年次は湖山キャンパスで一般教養を受講し、2年次から米子キャンパスで専門の講義を受けます。医学科や保健学科との合同授業では臨床の視点からの知識を、生命科学科の専門授業では研究の視点からの知識を得ることができます。生命科学の解明に留まらず、医療における新時代の礎を築いてゆくための、つまり研究と医療の橋渡しを行う研究者になるための環境が整えられています。これこそが、全国で初めて医学部に設置された生命科学科という全国でも有数の環境の旨味であると、強く感じています。平日の空き時間は友人と講義の予復習をし、休日は鳥取の大自然と戯れる日々です。今の私の大学生活は順風に満ちています。研究に興味がある、冒頭の言葉にはとするところのあった諸賢が生命科学科に興味を持ち、同じ学舎で切磋琢磨できる日が来ることを心待ちにしています。

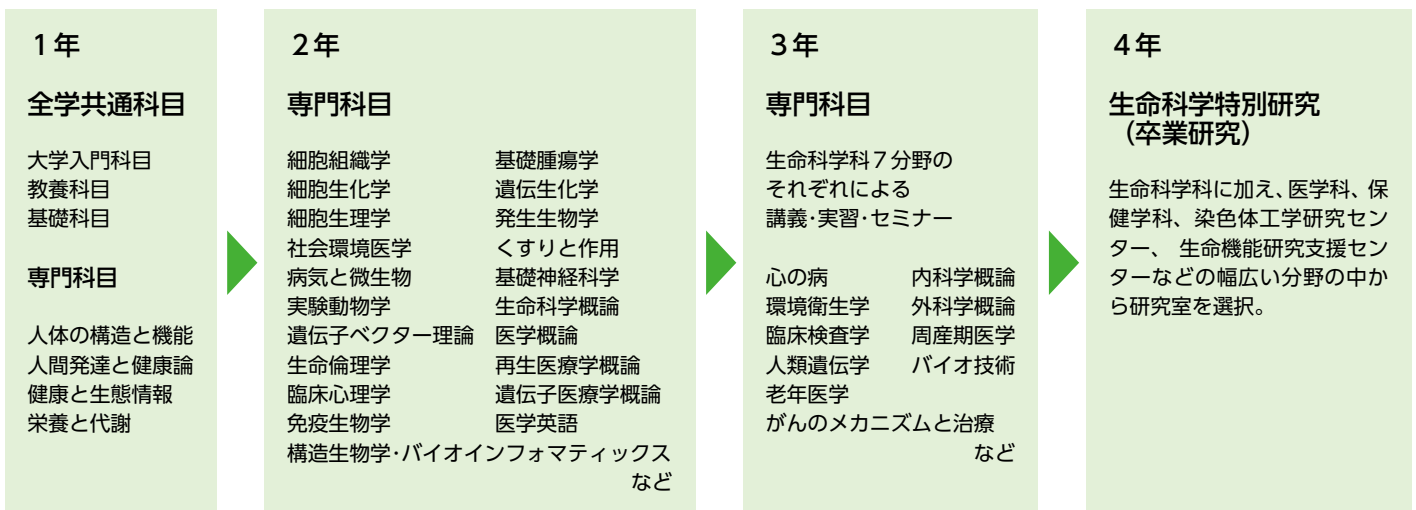
卒業生からのメッセージ



鳥取大学大学院医学系研究科准教授
香月 康宏さん（7期生）

私は生命科学科で学部、修士課程、博士課程を経て、大学院機能再生医科学専攻の准教授として教育・研究に従事しています。現在は鳥取大学発の染色体工学技術を使って、筋ジストロフィーの遺伝子治療を目指した研究や、医薬品の効率的な開発を目指したヒトに近い薬物代謝能を持つマウスを作製する研究等を行っています。この染色体工学技術は世界に類を見ない遺伝子導入技術で、筋ジストロフィーの原因遺伝子2.4Mbもの大きさの遺伝子をも運ぶことができます。筋ジストロフィー患者さんのiPS細胞において、染色体工学技術を使うことで巨大な欠損遺伝子を修復することに成功して以来、たくさんの患者さんからのメール等を頂いていることから、いち早く患者さんへの治療に結びつけたいと強く思うようになり研究を進めています。

▶Curriculum



1年次は鳥取キャンパスで他学部の学生とともに講義を受けます。

2・3年次の一部の講義は医学科・保健学科の教員により行われます。

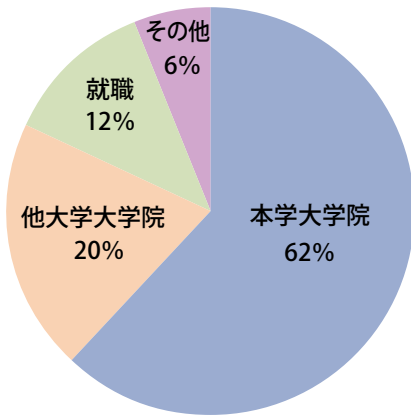
卒業生・修了者の進路

生命科学の卒業生の8割以上は、本学あるいは他大学の大学院博士前期課程（修士課程）に進学します。また、卒業生・大学院修了者の多くは、大学・研究機関における研究職のほか、製薬・食品企業の研究開発職や公務員・病院・出版関連企業等に就いています。今後、社会のニーズに対応して再生医療・遺伝子医療や臨床研究等のコーディネーターなど生命科学の知識が必要とされる新たな職種への進路も広がります。就職活動は、専任のスタッフがサポートしています。

夢をかたちに！



学部卒業生の進路就職先



H24~28年度累計

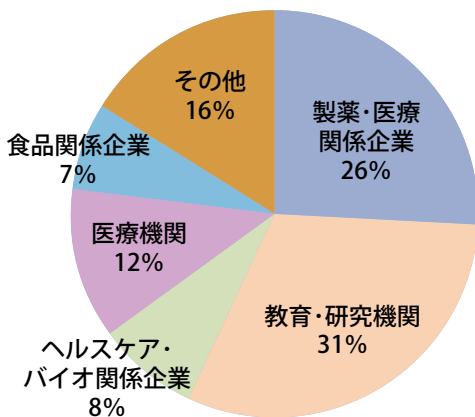
進学

- | | |
|---------------|---------|
| 鳥取大学大学院 | 千葉大学大学院 |
| 大阪大学大学院 | 新潟大学大学院 |
| 京都大学大学院 | 神戸大学大学院 |
| 九州大学大学院 | 他 |
| 北海道大学大学院 | |
| 奈良先端科学技術大学院大学 | |
| 東京医科歯科大学大学院 | |
| 東北大学大学院 | |
| 筑波大学大学院 | |
| 名古屋大学大学院 | |
| 金沢大学大学院 | |
| 東京大学大学院 | |
| 長崎大学大学院 | |
| 信州大学大学院 | |

就職

- | | |
|-------------------|--------------|
| ライフサイエンス出版（株） | 加藤レディースクリニック |
| みなとみらい夢クリニック | 小野薬品工業（株） 他 |
| 大和高田市 | |
| ミオ・ファティリティッククリニック | |
| あかね園 | |
| 日本食研 | |
| 岡山医学検査センター | |
| 医学映像教育センター（株） | |
| シミック（株） | |
| 医学生物学研究所 | |
| 鳥取県警科学捜査研究所 | |
| 杏林製薬（株） | |
| 茨城県 | |

大学院修了者の就職先



H24~28年度累計

就職

- | | |
|--------------------------|------------------|
| シミック（株） | 日本学術振興会 |
| クインタイルズ・トランナショナル・ジャパン（株） | 理化学研究所神戸CDB |
| グラクソ・スミスクライン | ゲンゼ（株） |
| 鳥居薬品（株） | 日華化学（株） |
| （株）新日本科学PPD | （株）山田養蜂場 |
| （株）エスアールエル | （株）シーエーシー |
| （株）メディクロス | 一般財団法人食品薬品安全センター |
| 日本新薬株式会社 | 沢井製薬株式会社 |
| WDBエウレカ（株） | 万田発酵（株） |
| 武田薬品工業 | 共和薬品工業（株） |
| 久光製薬株式会社 | （株）カネカ |
| 科研製薬（株） | （株）資生堂 |
| タカラバイオ（株） | 三重大学大学院医学研究科 |
| 第一三共ヘルスケア（株） | カノンキュア（株） 他 |
| 塩野義製薬（株） | |
| 林純薬工業（株） | |
| 英ウィメンズクリニック | |
| 日本赤十字社九州ブロック血液センター | |
| 鳥取大学医学系研究所 | |
| 公益財団法人実験動物中央研究所 | |

保健学科



保健学科長 萩野 浩

未来を夢見る学生の皆さんへ

鳥取大学医学部保健学科では周囲の人との協調力を大切にし、高い倫理観と科学的な思考力や判断力を身につけ、医療・保健の分野でリーダーとなって地域と社会に貢献できる人材を育成しています。

米子市は山陰の商業都市として活気のある若者に優しい街で、学生達は伸び伸びと勉学やスポーツに励んでいます。美しい大山と穏やかな中海に囲まれたキャンパスで、あなたも私たちといっしょに、希望にあふれた将来のために大学生活を送ってみませんか？

▶ **Mission** 地域の健康課題に対応した高いコミュニケーション能力と臨床実践力を備えた全人的医療人である専門職業人の育成

▶ Curriculum

	1年	2年
看護学専攻	<ul style="list-style-type: none">○看護の基本○基礎看護学実習Ⅰ	<ul style="list-style-type: none">○病気・症状と看護○健康障害と看護○看護（成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、在宅看護、公衆衛生看護）○基礎看護学実習Ⅱ <p>看護学を学ぶ上で基盤となる科目を学びます。</p>
共通科目	<ul style="list-style-type: none">○大学入門ゼミ○教養科目○基礎科目（コミュニケーション）	<ul style="list-style-type: none">○保健統計学○コミュニケーション○くすりと作用○総合英語 など○心の病○疾病論○カウンセリング
検査技術科学専攻	<ul style="list-style-type: none">○健康と生体情報○人体の構造と機能	<ul style="list-style-type: none">○人体組織学○微生物学○病理学○分析検査学○医用工学 <p>専門基盤科目を中心に身体の仕組み、病気の成り立ち、治療法などを学びます。</p>

1年次は鳥取キャンパス（鳥取市）で他学部の学生と全学共通科目を学びます。

2年次以降は米子キャンパス（米子市）で専門支持科目、専門科目を学びます。医学部附属病院を中心として総合的な実習の体制が取られています。



1年生

検査技術科学専攻

左から長野県出身・鳥取県出身

1年次は、比較的自由な時間が多く、勉強と部活とバイトの3つ全てを頑張ることができる学年です。また、選択授業が豊富で、自分が興味のあることを学べます。一人暮らしになり不安だと思いましたが、湖山キャンパスは他学部との交流が多く、すぐに仲良くなれるので心配は要りません。



2年生

看護学専攻

左から島根県出身・沖縄県出身・鳥取県出身

新たな環境で新たなキャンパスライフがスタートします。湖山とは違う部活や勉強内容で、はじめは緊張しましたが、医学部生は皆優しくすぐに慣れました。看護という学問と距離が一気に近くなると感じる一年です。

看護学専攻主任あいさつ



母性・小児家族看護学講座
教授 南前 恵子

看護学専攻では、人々が生活する様々な場で、病気の人から健康な人までの幅広い健康問題に対して支援できる看護職（看護師、保健師、助産師）を育てます。また、人を人として敬い、人の尊厳を守ることができる看護職であり、社会人であることを目指して、コミュニケーション能力の育成にも力を入れています。

広い視野を持ち、看護学の知識と実践力がそなわらうような学びの場を整えています。看護を学問として学び、人として大きく成長するとともに看護職者として活躍できることを目指して共に学びましょう。

Admission Policy

1. 健康に関わる様々な問題について、深く広い関心のある人
2. 新たな知識の探求や柔軟な発想、論理的な思考の基礎となる学力のある人
3. 相手の言葉に耳を傾け、相手の立場を思いやることができ、自らの確に表現する力のある人
4. 他者と協調し、信頼関係を築き、主体的に行動できる人
5. 自ら課題を見出し主体的、創造的に探究して自己の成長を目指す人

検査技術科学専攻主任あいさつ



病態検査学講座
教授 鯉岡 直人

検査技術科学専攻では、臨床検査技師の養成課程を通して生命倫理を尊重し科学的な視点で物事を判断できる人材を育成しています。授業・実習だけでなく学生同士の自主的活動によって、医療人としての心構えやコミュニケーション能力、協調性などを身につけることができます。また、決められた授業だけでなく、在学中の研究室配属によって研究指導を行っています。応用的な研究を行うことによって科学的素養が磨かれます。興味を持った学生は大学院に進学して研究を継続しています。観光地が多く、おいしい食に恵まれたこの米子の地で、皆さんの夢の実現に向かってともに進んで行きましょう。

Admission Policy

1. 生命倫理を尊重するとともに、科学的な視点で物事を判断できる人
2. チーム医療の一員としての仕事に自信と責任を持ち、周囲の人と協調できる人
3. 一つの事象にとらわれず幅広く物事を見ることができる、視野の広い人
4. 地域環境の保全や地域社会の保健、バイオサイエンスに関心を持てる人
5. 地域社会のみならず国際的にも貢献できる人

3年

4年

看護師国家試験
保健師国家試験
助産師国家試験
(選択)

学士取得・卒業

就職

進学

○看護演習
(成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、在宅看護、公衆衛生看護)

○臨床実習 (成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、在宅看護、公衆衛生看護)

○統合実習 ○課題研究
看護、健康など幅広いテーマの中から
課題研究に取り組みます。

○医療情報システム学
○医療英語

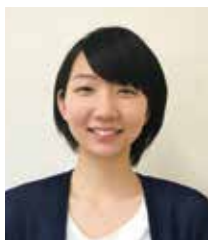
○死生学
○医療コミュニケーション

○病理組織検査 ○生理機能検査
○病原体検査 ○臨床化学検査
○血液、免疫検査
専門的な実習科目を中心に学びます。

○臨床実習 ○課題研究
臨床実習による高い実践能力を身につけます。課題研究では多彩なテーマから選択し、取り組みます。

臨床検査技師
国家試験

医学科・生命科学科との密接な連携のもとで教育・研究を行います。



3年生

検査技術科学専攻

岡山県出身

3年生では、超音波検査や採血などの専門的な実習が増えてきます。内容は難しくなりますが、臨床的な実習を行うことで自分の成長や、臨床検査技師という仕事を肌で感じることができるので、とても楽しいです。



4年生

看護学専攻

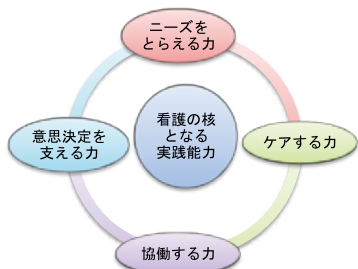
鳥取県出身

実習での患者さんとの関わりや課題研究で興味のあることについて学ぶことで、看護師像をイメージし将来に夢を膨らませています。4年生は同級生と看護について、より深く考える機会が増え、共に学ぶ過程が楽しいです。

基礎看護学分野 教授
深田 美香

未来につなげる
“看護の原理”

ナイチンゲールは1860年、著書“Notes on Nursing: what it is, and what it is not”の中に、時代が変わっても人間の生活がある限り変わらない“看護の原理”を記しました。私たちは、「生命力の消耗を最小にするように、持てる力を十分に活用できるように生活のあり方を整える」という“看護の原理”を使い、論理的に思考し確かな技術を用いて、ケアの受けてのニーズに応じた看護を実践しています。看護の核となる実践能力（日本看護協会）には、ニーズをとらえる力、ケアする力、協働する力、意思決定を支える力があります。どのように看護学を学び、どのように看護の実践経験を積み重ねていけば、この能力を身につけられるかという問いに答えるために、日々、教育・研究に取り組んでいます。一緒に、新しい看護を創造し、看護学の知識を生み出していきますか。



成人看護学分野 教授
中條 雅美

山陰で唯一の
がん看護専門看護師
の育成

成人・老人看護学講座で成人看護を担当しています。成人看護学では、成人期にあり病とともに生きている人の病態や療養生活についての理解を深め、それに対する看護について学びます。学部や大学院のゼミでは、手術看護、救急看護、慢性看護、がん看護における学習や研究を行っています。特に大学院においては、山陰で唯一のがん看護専門看護師の育成を担当しています。

現在行っている研究は、成人看護学の中でもがん看護や糖尿病看護に関することです。実際に病とともに生きる人にインタビューをして、その方にしかわからない体験を教えていただき、どのような看護をしていったらよいかを追求しています。成人期は対象となる年齢の幅が広く、様々なライフサイクルにあり多様なライフスタイルを持っておられます。実際に病とともに生きる人にお話を伺うことで初めてわかることも多いです。



母性家族看護学・助産学分野 教授
鈴木 康江

将来を担う子ども達、
そして産み育む
母親・女性のための研究

助産学分野では、学部で助産師養成の教育のほか、女性の生涯にわたる健康、子どもの健全な成長・発達、女性と子どもをとりまく家族の健康をテーマに研究をしています。とりわけ私がしているのは、早産などで小さく生まれた赤ちゃん（低出生体重児）の育成環境が成長や発達にどのように影響しているのかについてその背景要因の探索、育児方法の特徴等を明らかにするために、妊娠期から追跡調査をしています。

その他に地域貢献活動では思春期の青少年たちへのピアカウンセリング支援（peer in heart）、全ての女性や赤ちゃんが出産前から切れ目なく助産師によるケアを受けることができる社会を目指した助産師出向支援活動、助産師が常に最新の知識・技術を学ぶことができる教育活動などを行っています。

皆さんも、将来を担う子ども達、そして産み育む母親・女性のための研究活動、臨床助産師が地域でその力を存分に発揮できるための支援活動を一緒にしてみませんか。



Peer in heartのロゴ

公衆衛生看護学分野 教授
松浦 治代

「住民とともに
健康づくりのできる
看護職養成」

看護はあらゆる健康レベルの人を対象としています。公衆衛生看護の領域は、人々のQOLの向上を目指して、健康な人はより健康でいられるように、たとえ病気や障碍というハンディキャップがあったとしてもその人らしく暮らせるように環境を整え、支援していきます。病気があっても折り合いをつけながら生活する、運動などの自主的活動の主宰など、地域の住民さんの力は大きいです。住民さんがどのようにその力を身につけてこられたのか、またどのような支援があればより力を発揮できるのか、看護職者は何ができるのが現在の課題です。公衆衛生看護は、集団を対象とするという特徴があります。

実習やフィールドワークなど保健師や地域住民さんとかかわる中で、知識や技術を習得し、公衆衛生看護の魅力を感じてもらいたいと考えています。



住民の方々、役場のスタッフ、学生とともに地域の健康課題解決に向けて話し合う座談会

環境保健学分野 教授
浦上 克哉

認知症予防の研究と 認定認知症領域 検査技師の養成



認知症対策は世界的な課題です。増加の一途をたどる認知症への予防は急務であり科学的エビデンスの創出が我々の使命です。私の研究室では、認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）を早期発見するための検査法と予防ツールの開発を行っています。特許を取得し実用化に成功したもののひとつが写真に示す「物忘れ相談プログラム」というスクリーニング機器です。3分以内で物忘れチェックができ、全国で活用されています。

認知症医療の現場における課題は人材不足です。そこで、認知症医療に対応できる臨床検査技師の育成を行っています。大学院博士前期課程に「認知症予防学特論」、「認知症予防学演習」を学ぶことのできる本邦初の「認定認知症領域検査技師コース」が平成29年から開設されています。

認知症予防を学び臨床の実践と研究を行い、世の中に貢献しませんか？



物忘れ相談プログラム

細胞・蛋白検査学分野 教授
北村 幸郷

病態を可視化する



病理検査には、生検による組織検査、細胞診による細胞検査、術中迅速検査、手術材料による病理検査などがあり、また病理解剖によって疾病の広がりや治療効果の検討がなされます（表参照）。病理検査には適切な検体処理、良好な標本作製および正確な染色技術、さらに細胞検査士の育成が必要であり、人材育成ならびにこれらの病理技術向上のための研究を行っています。古典的なHematoxylin-Eosin染色や一般的な特殊染色のみならず、免疫組織化学や電子顕微鏡による検査技術の向上はもちろんのこと、近年では分子生物学的手法を用いた分子病理学的検査技術が必要とされています。In Situ Hybridization、FISH、PCRなどは病理検査にも活用されており、これらを用いた検査技術の向上を目指して研究を進めています。

病理検査＝人体病理（外科病理学、診断病理学）

1. 生検による組織検査（内視鏡で採取された腫瘍組織の検査など）
2. 術中迅速検査（手術断端に腫瘍がないことの確認など）
3. 手術材料による病理検査（病変の広がり、病期の検索など）
4. 細胞診（悪性細胞の有無など）＝細胞検査士の育成が必要
5. 病理解剖（病変の広がり、治療効果の検索など）

Hematoxylin-Eosin染色、組織化学、免疫組織化学、電子顕微鏡などに加えて分子生物学的手法（In Situ Hybridization、FISH、PCRなど）を用います。

生体機構学分野 教授
二宮 治明

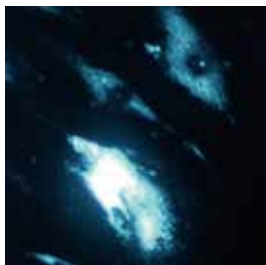
Niemann-Pick 病 C型（NPC）の研究



NPCは脂質蓄積症のひとつで、致死性の遺伝性疾患です。ふたつの原因遺伝子は確定していて、その遺伝子型と表現型については詳細な記載があります。しかし、基本的な問題の答えは謎のままです。まず、原因遺伝子がコードする蛋白質の機能はいったい何なのか。これらの欠損がどうして脂質の輸送障害を引き起こすのか。そして、なぜ神経細胞は死んで行くのか。

遺伝性疾患の治療を考えると、遺伝子治療ないし幹細胞治療しかありえないというのはロジカルには正しい。残念ながら、これを待っていたらいつになるかわからないというのが現実であり、そもそも可能なかどうか

も今の私たちにはわかりません。そういう状況下で、病態を理解することを目指しています。その過程で、すこしでも患児のbenefitになる情報が得られれば、と思います。画像は、患者さんの皮膚から得た線維芽細胞を、フィリピンという蛍光物質で染色した結果で、コレステロールの蓄積を表しています。

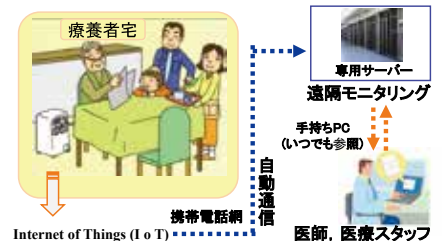


病因・治療管理学分野 教授
鯉岡 直人

アイデアを カタチにする



病気の診断や患者さんの治療に多くの医療機器が使用されています。実際使用していると検査学的に新しい機能や臨床的な工夫を追加したら患者さんにメリットが大きいであろうと予想されるアイデアが思い浮かびます。このような、思いつきを具体化する医工学分野の研究を行っています。例えば、自宅で長期間酸素吸入をしている患者さんの利便性を高めるため、酸素供給装置にインターネット回線を接続して重要な治療情報を医師、医療スタッフがいつでも確認できるシステムを企業と開発して実用化しました。これはInternet of Things（IoT）を応用した新しい医療機器です。医学的知識に加えて情報工学、物理学、数学を応用して医療機器を開発・実用化するためには、企業との共同研究が欠かせません。基礎研究とは違う実践的研究を通して得られた成果が臨床医学に還元されるように日々取り組んでいます。



看護学専攻 (保健学科)

▶ Curriculum Policy

1. 鳥取大学のグランドデザインの柱である現代的教養と人間力を身につけるために文化・社会・自然に関する幅広い科目を編成します。
2. 全人的医療人の基盤として、こころ・身体・社会の構造と機能について学習し、さらに、看護学の視点から生活者の健康について学習できるカリキュラムを展開します。
3. 看護の対象、看護実践の場、健康にかかわる課題、実践の方法についての学習を充実します。看護実践を通して、看護の本質を追究する姿勢を身につける教育を重視します。
4. 生涯にわたり専門性を高めていく姿勢を持ち、主体的に看護を追究するために人間力を高め、理論的追求および実践的追求の方法を学習できるカリキュラムを展開します。

▶ Diploma Policy



看護職者の役割と責務を理解し、豊かなコミュニケーション能力を身につけ、倫理的に行動する能力



看護の基礎となる人間と健康生活を理解し、人間、健康、環境、看護に関する専門的知識と技術の修得、さらに、あらゆる対象の健康生活のために科学的根拠に基づいて実践する能力



対象者の利益のために保健・医療・福祉をはじめ種々の関係者と連携・協働し、調整する能力



看護学の発展のために、看護実践の中から課題を自律的に探求し、論理的・創造的に解決し続ける能力

▶ 看護学専攻の教育の特色

模擬患者さん参加型演習

医療現場で必要とされる知識・技能・態度をできるだけ現実に近い状況の中で訓練するために市民ボランティアによる模擬患者参加型の演習を取り入れています。



学生の声

良い緊張感の中で、その場の患者さんの状況、状態に合わせた関わりを学べます！

附属病院での臨地実習

鳥取大学医学部附属病院の実習では、患者さんの思いに寄り添った、その人らしさを支える看護の実践を学びます。



学生の声

実習指導者さんや教員の丁寧で熱心な助言を受けられるので、実習がとても充実しています！

地域の方と関わる看護活動

地域で暮らす人を支える看護活動として、生活習慣など各地域の健康課題をテーマに健康教育等を実施し、予防的な視点も学びます。



学生の声

生活に適した予防方法を提案するために、地域住民の方の日頃の生活を知ることの重要性が学べます。一方通行ではなく地域住民の方から教えて頂くという姿勢も大切！

◆取得可能資格／看護師、保健師、助産師（選択）、養護教諭二種

助産師資格については、受講生が10名程度と制限されており、希望者が多数の場合は学内で受講者を選考します。養護教諭二種免許は保健師資格取得後に申請可能です。

在校生の声 —鳥取大学 看護学専攻での学び—

看護学専攻3年生

大森 瑞穂さん（鳥取県出身）

専門科目も増え、課題や試験勉強は大変ですが、その分楽しいことも多く、部活やアルバイトなど充実した毎日を送っています！部活はダンス部に所属しており、部活の時間は私にとってとても大切な時間になっています！実習では良い緊張感の中で、患者さんの状況や状態に合わせて考える必要があり、難しいこともあります。多くの学びを得ることができます。日々の学びを大切に、患者さんに寄り添える看護師を目指して頑張っています！



看護学専攻4年生

蓮佛 瞳さん（鳥取県出身）

3年後期の臨地実習では、それまでに得た知識や技術を用いながら看護を実践していきます。実習を通して、患者さんを第一に考え、寄り添うことの大切さを実感しました。その中で、患者さんを思う気持ちだけではなく、専門的な知識・技術も必要だということを知り、日々学習を積み重ねていくことの大切さを改めて感じました。実習は大変なこともあります。その分多くの学びを得ることができるため、日々努力しながら患者さんに寄り添った看護を提供できるよう頑張っています！

卒業生からのメッセージ

看護学専攻第9期生

石上 宏さん 岩美町健康長寿課 勤務

私は海が綺麗な「岩美町」で保健師として働いています。住民が健康に笑顔で暮らす町を目標に保健活動をしています。すぐに結果が出ないものが多いですが、健康面からまちづくりに携われることにやりがいを感じています。昨年度は、派遣職員として被災地南三陸町での保健活動に従事し、住民の方に寄り添う大切さを痛感しました。学生時代に学んだことを教訓に、人々の暮らしづくりや考えを知り、住民の方々に信頼される保健師を目指したいと思います。



卒業後の進路 (主な就職先・進学先：平成27～28年度)

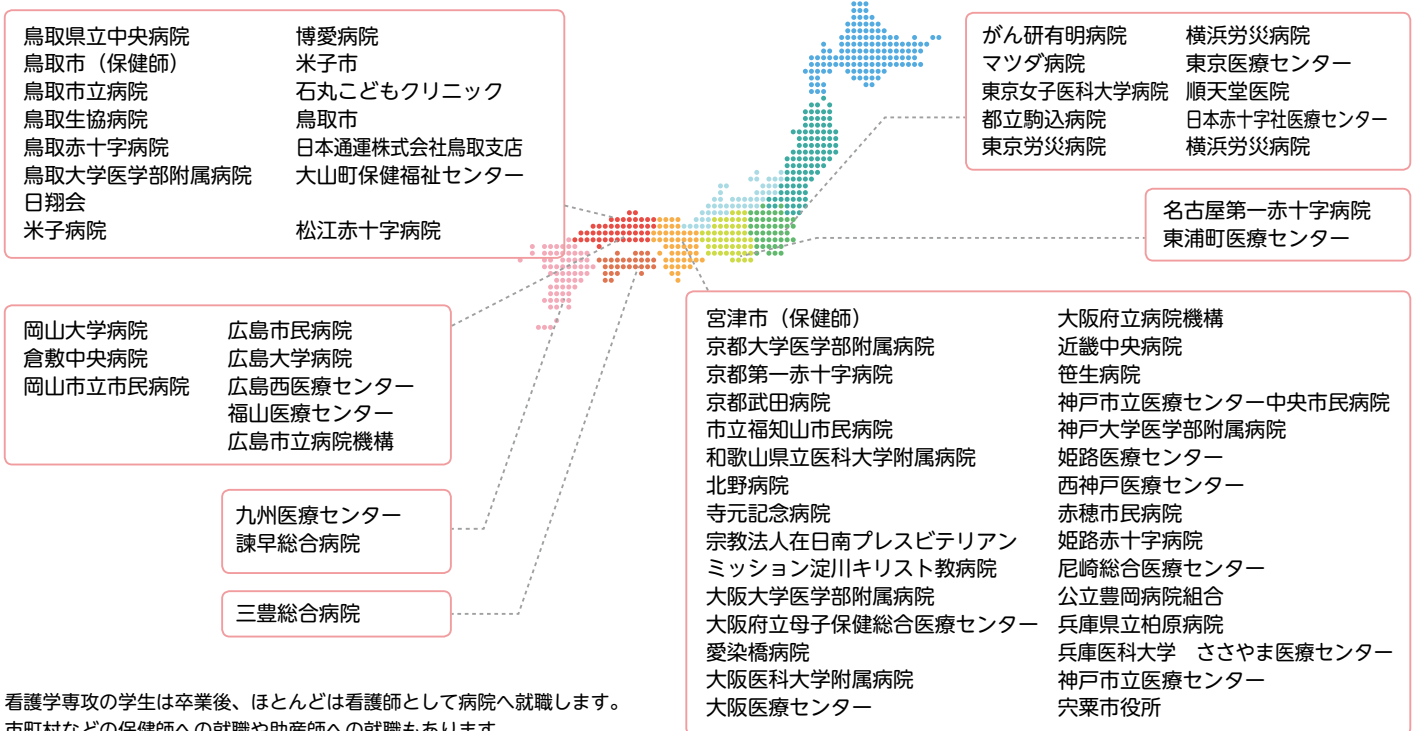
高い就職率!!

平成27～28年度就職率：100%

鳥取県をはじめ全国各地に就職しています！

進学先

岡山大学養護教諭特別別科
鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻
島根県立大学別科助産学専攻
鳥取市医療看護専門学校 言語聴覚士学科



看護学専攻の学生は卒業後、ほとんどは看護師として病院へ就職します。市町村などの保健師への就職や助産師への就職もあります。

検査技術科学専攻 (保健学科)

▶ Curriculum Policy

1. 幅広い知識と確かな実践力をもった人材を育成するために、バランスのとれた教養教育と専門教育を行います。また、自律的な生涯学習力を養成します。
2. 臨床検査技師に必要な科目を中心にして、専門科目を体系的に学べるよう教育課程を編成します。臨床検査技術の習得につながる実習科目を充実します。
3. 医療人として必要な医学の専門科目に加え、コミュニケーション能力を育成する科目を設置し、他者との違いを理解し、他者を思いやる心と倫理観を涵養します。大学病院を含む多様な医療施設で実習を行い、臨床現場での体験学習を充実させます。
4. 課題研究などの問題解決能力・創造的表現力を育成する科目を設置します。医学部他学科との合同講義を設け、最先端のバイオサイエンスや医学・医療の実際を学べる教育課程を編成します。

▶ Diploma Policy

1. 幅広い視野から人間を理解し、倫理的に行動する態度と姿勢
2. 臨床検査学の高い専門的知識と技術
3. 医療人としてのコミュニケーション能力、思考力、判断力、協調性
4. 地域のみならず国際的な医学・医療の発展に貢献できる科学的探究能力

検査技術科学専攻の実習の様子

分析実習

血液、尿など生体試料中には、蛋白質、酵素、脂質など様々な成分が含まれています。それぞれの成分の特徴や働きを理解し、分析技術を習得します。



人体組織学実習

組織学は、人体の構造を細胞レベルで理解する学問です。人体の各臓器から作製した組織標本を顕微鏡下で観察し、正常な微細構造について学んでいきます。



微生物検査実習

この実習では、滅菌法・無菌操作法など微生物を取り扱う際に必要な基本操作の習得と、細菌の培養や鑑別・同定法などを学びます。



病理組織細胞学実習

この実習では、検体処理、標本作製および染色技術の習得と、正しい標本観察を目標に学んでいきます。



シミュレーターを使った採血実習

採血も臨床検査技師の大切な仕事です。採血時の事故のないよう、シミュレーターを用い、しっかりと練習します。



超音波検査実習

超音波検査は、体内の臓器を画像化して調べる検査です。診断装置に関する知識はもちろん、解剖学の知識も必要であり、熟練が必要な検査です。



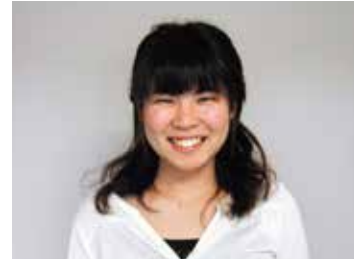
◆取得可能資格／臨床検査技師

在校生の声 —検査技術科学専攻での学び—

検査技術科学専攻 3年生

森 清耶さん (大阪府出身)

私は、母親が臨床検査技師であったので、この職業には馴染みがありましたが、思っていたよりも多くの業務ができることを知り、医療の重要な役割を担うやりがいのある仕事なのだと感じ高校時代に本格的に目指すようになりました。学年が進むごとに、知識、技術が身につく、臨床検査技師になれる喜びを感じています。部活動も盛んであり、放課後は練習に励むなど、充実した生活を送っています。



私の週間スケジュール

	月	火	水	木	金
1 時限	環境衛生学	医療英語 I	医療情報システム学	病態分析検査学 実習 I	病態血液学
2 時限	病態分析検査学	病態免疫血清検査学	人類遺伝学		病理組織 細胞学・実習 I
3 時限	病原体検査学・ 実習 I	病態生理情報 検査学	病原体検査学		
4 時限					
放課後	サークル活動		アルバイト		サークル活動

卒業生からのメッセージ

検査技術科学専攻第11期生

上田 直幸さん 広島大学病院勤務

皆さんは臨床検査技師と聞いて何を思い浮かべますか？中には何をしているかさっぱり分からないという方もおられるかもしれません。しかし臨床検査技師という仕事は病気の診断に必要な検査業務を行う重要な職種です。

私は大学卒業後、大学院へ進学し生体検査の専門知識を身につけました。超音波検査を通して患者さんに貢献できていることにやりがいを感じます。

一人でも多くの方が臨床検査技師という仕事に興味を持ち、楽しい大学生活を送っていただけたらと思います。



卒業後の進路 (主な就職先・進学先：平成27～28年度)

就職率100%

卒業生の多くが出身地で就職しています！

進学先 (13名)

鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
神戸大学大学院保健学科研究科
九州大学医学系学府医科学専攻

名古屋臨床検査センター

鳥取県立中央病院
山陰労災病院
鳥取大学技術部医学系部門
博愛病院
雲南市立病院
国立病院機構浜田医療センター
島根県職員
島根県立中央病院
島根大学医学部附属病院
安来第一病院

岡山済生会総合病院
岡山赤十字病院
倉敷成人病センター
倉敷中央病院
総合病院水島協同病院
小郡第一総合病院
下関医療センター
中国労災病院
広島厚生連吉田総合病院
広島市立広島市民病院
福山市民病院
榊福山臨床検査センター

飯塚病院
鹿児島厚生連病院
青雲会病院
中央病院
南風病院
佐世保中央病院
長崎病院

京都第一赤十字病院
京都第二赤十字病院
洛和会音羽病院
日本赤十字和歌山医療センター
石切生喜病院
大阪医科大学附属病院
大阪市民病院機構
大阪赤十字病院
済生会中津病院
社会医療法人愛仁会
南港病院
赤穂市民病院
尼崎中央病院
近畿中央病院
神戸市民病院機構
神戸赤十字病院
公立八鹿病院
製鉄記念広畑病院
高砂市民病院
兵庫医科大学病院
兵庫県職員
大津赤十字病院

キャンパスカレンダー

共に目標に向かって努力し、仲間と語り合い絆を深め、充実した学生生活を送っています。

4月

- ◆前期授業開始
- ◆全学合同入学式(鳥取)
- ◆大学入門ゼミ(1年生)
- ◆教員との懇親会(保健学科2年生)



◆大学入門ゼミ
大学生活の心得を学びます。
共に学ぶ、仲間との交流



◆教員との懇親会(保健学科)
2年生に進級おめでとう！
生命科学科と保健学科は2年生から米子キャンパスでの学生生活がスタートします。

5月

- ◆慰霊祭(医学科)

6月

- ◆鳥取大学開学記念日(6月1日)
- ◆医学部1年次スポーツ大会

7月

- ◆前期試験

8月

- ◆オープンキャンパス
- ◆夏季休業



◆オープンキャンパス
学内演習の体験、附属病院の見学もあります。



9月

10月

- ◆後期授業開始



◆学園祭(錦祭)
合同コンサートや医学展示など日頃の勉強の成果を一般公開し、地域住民とのつながりを深めます。

11月

- ◆学園祭(錦祭)



12月

- ◆冬季休業

1月

- ◆後期試験



◆国家試験出発!!(医学科・保健学科)
壮行会の様子(4年生2月)

2月

- ◆国家試験壮行会(医学科・保健学科)
- ◆医師国家試験(医学科)
- ◆看護師・助産師・保健師国家試験(保健学科看護学専攻)
- ◆臨床検査技師国家試験(保健学科検査技術科学専攻)
- ◆春季休業

3月

- ◆医学部卒業式・謝恩会
- ◆進級生オリエンテーション(新2年生)





◆卒業式
卒業おめでとう！
それぞれの新たな道へ

学生生活

課外活動

勉強だけでなく、クラブ活動やサークル、バイトなど、うまく両立しながら楽しい日々を送っています。様々な出会いや経験は自分の成長を高め、一生の思い出になります。

体育系	球技	硬式庭球部、卓球部、バドミントン部、準硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、ゴルフ部、ソフトテニス部（男・女）、バスケットボール部（男・女）、バレーボール部（男・女）、フットサル部（男・女）、V-TEC Jr.	
	武道・射的	合気道部、武産合気道同好会、空手道部、剣道部、柔道部、弓道部	
	陸上	駅伝部、陸上競技部	
	ウォータースポーツ	水泳部、漕艇部、サーフィン部	
その他	ダンス部、競技スキー部、サイクリング部、ワンダーフォーゲル部、アイスホッケーサークル、MONSTER BASH Jr.、レジャーサークル、PORKS		

文化系	芸術	アトリエ自由ノート、写真部、茶道部、華道部	
	音楽	ギターマンドリン部、軽音楽部、スプラウト（混声合唱団）、室内管弦楽団、JAZZ 研究会	
	地域交流・社会貢献	しゅわっち（手話サークル）、学生 ACLS、地域医療研究部、Peer in Heart、パッチアダムスクラブ、ぼくがそばにいるよ、筋ジストロフィーボランティア部、大山家族、鳥取大学ぬいぐるみ病院、国際保健友の会ハクナマタタ	
	その他	将棋部、E.S.S.、TC-SARCH、サブカルチャー研究会、カクテル部、落語研究会、ルービックキューブ研究会	

大学生活サポート

保健管理センター・学生相談ルーム 身体に異常を感じたり、慢性疾患のある人、ケガをした人、「勉強に身が入らない」「大学生活になじめない」など、こころの悩みを持っている人も気軽に相談できます。

医学図書館

平成25年に
リニューアルオープン！
居心地の良い空間。
OPEN/8:40 CLOSE/23:00
(授業期、試験期の平日)

【1F ブラウジングコーナー】
雑誌や新聞、コミックあり

【2F 閲覧室・
コンピュータールーム】
試験シーズンは満席になるほど
大勢の学生が利用

【3F グループ学習室】
グループ学習室



大学生協 売店・食堂

平成27年に
食堂リニューアルオープン！
学生の健康的な食生活を応援！
安全な食材を利用しやすい価格で、
栄養バランスのとれたメニューを提供。
OPEN/8:00 CLOSE/19:30
座席数/221席

売店には、文具や書籍、生活用品、
お弁当などが揃っています。

※その他、附属病院内にタリーズコーヒー店、ローソン等があります。



附属病院

鳥取大学医学部附属病院は山陰地域における中核病院として充実した最新設備を備え、地域住民から絶大な信頼を得ています。診療科は専門診療別に39科に及び、これらの各診療科では我が国における最高水準の医療を提供しています。

附属病院の社会的責務は診療のみではなく教育と研究があります。優れた医療人の教育・養成機関として卒前教育、卒後教育はもとより、医療従事者の専門再教育、さらには一般社会への医療・福祉に関する社会教育にも積極的に活動を展開しています。研究機関としては、各種疾患の病態の解明、新しい診断・治療方法の開発など絶えず世界に向けて情報を発信し、職員一人一人が主体となって病院を作るという考え方をもち、地域の皆様と共に愛され信頼される大学病院を目指します。



最先端医療への取組み ～負担の少ない治療～

本院では、時代のニーズに応じた「人にやさしい最先端医療」を取り入れています。特に手術や検査に伴う痛みや出血をできるだけ少なくした「低侵襲治療」は、患者さんの体の負担を小さくし、回復を早めることにつながります。

H22に手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入
H27には全国国立大学病院で2番目に早く手術症例数が500例達成!!



産学官の取組み

～医療シミュレータロボットを共同開発～

気管挿管、内視鏡検査、喀痰吸引の3つの手技を一体でトレーニングでき、人のようなリアルティ・柔らかさ・生体反応を再現した医療シミュレータロボットを民間企業と共同で開発しました。

特徴

患者や家族への心遣いを 忘れない取組み ～ホスピタリティ～

本院では、このホスピタリティを念頭に置いて、職員一同が自らを来院される患者さんの立場に置き換えて行動するよう心がけています。



働きやすさ トップクラスへの取組み ～ワークライフバランス～

多様な働き方・生き方を尊重し、「働きやすさトップクラス」を実現するため、職員一人一人が能力を発揮し輝きながら働く職員であられる病院を目指しています。



健康の喜びの共有

理念

私たちは医療の実践、医学の教育・研究を推進し、
地域の人々と健康の喜びを共有します。



入試情報

2018年度（平成30年度）募集人員

学科・専攻	入学定員	前期日程	後期日程	特別入試		私費外国人
				推薦入試Ⅱ	社会人入試	
医 学 科	100人	65人	20人	15人	－	若干名
生 命 科 学 科	40人	30人	5人	5人	－	若干名
保 健 学 科 看 護 学 専 攻	80人	45人	10人	25人	若干名	若干名
保健学科検査技術科学専攻	40人	20人	10人	10人	若干名	若干名

2018年度（平成30年度）試験内容

学科・専攻	学力検査の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別試験学力試験等の概要
		教科	科目名	
医学科	前期日程	国語 地歴・公民 数理 外	国語（必須） 世B、日B、地理B、倫・政経から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理、化学、生物から2 英、独、仏から1 5教科7科目	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B） 英語 理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2） 面接
	後期日程		5教科7科目	面接
	推薦入試Ⅱ		前期日程・後期日程に同じ （5教科7科目）	面接
生命科学科	前期日程	国語 地歴・公民 数理 外	国語（必須） 世B、日B、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理、化学、生物から2 英、独、仏から1 5教科7科目	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B） 英語 理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2）
	後期日程		5教科7科目	面接
	推薦入試Ⅱ		前期日程・後期日程に同じ （5教科7科目）	面接
保健学科 看護学専攻	前期日程	国語 地歴・公民 数理 外	国語（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、現社、倫、政経、倫・ 政経から1 数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、 簿・会、情報から1 物理基礎、化学基礎、生物基礎 から2または物理、化学、生物 から2 英、独、仏から1 5教科6科目	英語 小論文 面接
	後期日程		5教科6科目	小論文 面接
	推薦入試Ⅱ		前期日程・後期日程に同じ （5教科7科目）	小論文 面接
保健学科 検査技術科学専攻	前期日程	国語 地歴・公民 数理 外	国語（必須） 世B、日B、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理、化学、生物から2 英、独、仏から1 5教科7科目	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）、英語から1教科選択
	後期日程		5教科7科目	小論文 面接
	推薦入試Ⅱ		前期日程・後期日程に同じ （5教科7科目）	小論文 面接

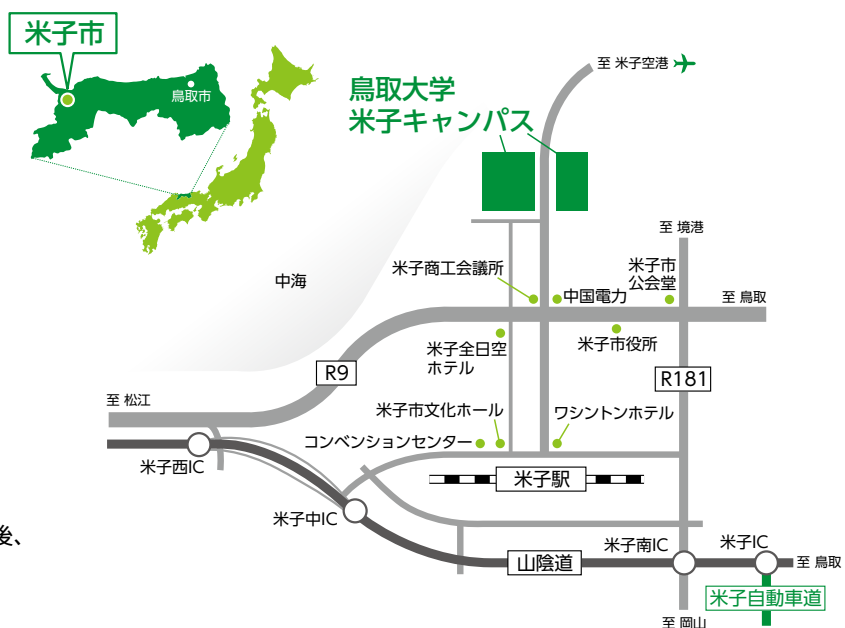
平成30年度入試 ここが変わります！

- ・前期日程の「個別学力検査等」に理科が追加されます（医学科、生命科学科）
- ・前期日程の「個別学力検査等」で行われていた面接がなくなります（生命科学科）

詳細は平成30年度入学者選抜要項、鳥取大学HP入学試験情報をご確認ください。

アクセス

- 東京から
飛行機で1時間20分
JR東海道・山陽新幹線ー伯備線経由で
5時間30分
- 大阪から
JR山陽新幹線ー伯備線経由で3時間
高速バスで3時間20分
- 米子駅から
徒歩で約15分
タクシーで約3分
米子市循環バス利用で約8分
※米子駅から大学前まではバス利用で約4分
- 米子空港から
タクシーで約20分
※空港連絡バスをご利用の場合は、市役所前で下車後、
徒歩で約10分



ホームページをご覧ください！



◀鳥取大学医学部HP

<http://www.med.tottori-u.ac.jp/>



鳥取大学医学部附属病院HP▶

<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/>

鳥取大学医学部学務課

〒683-8503 鳥取県米子市西町86
TEL: 0859-38-7096(教育企画係)

鳥大 医学部

検索